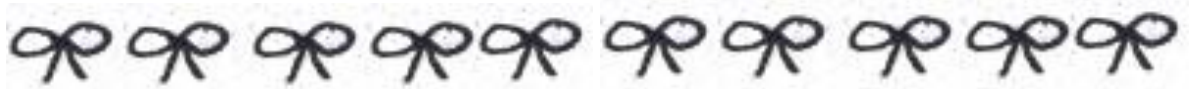


2016年沖縄週間／沖縄の旅 参加のごあんない

6月24日（金）～27日（月）



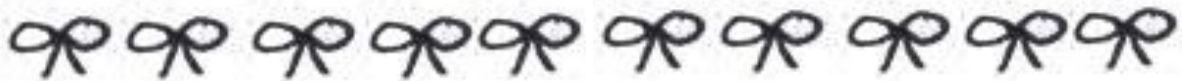
あなたは自分の考えで、そう言うのですか。それとも、ほかの者がわたしについて、あなたにそう言ったのですか ヨハネ 18:34

わたしにつながっていなさい。わたしもあなたがたにつながっている。ヨハネ 15:4

ぬち たから

命どう宝

～平和って何？ わたしの平和、キリストの平和～



今年の沖縄週間・沖縄の旅は沖縄の「慰霊の日(6月23日)」の週に上記のテーマと二つの聖句を掲げて実施します。一言で「平和」と言っても、考えは多種多様であるとの前提で選定しました。政府の政策には福島原発事故で明らかのように当該地区だけにとどまらず、国内外に多大な影響を及ぼしているものもあります。教会は聖書の教えに従った預言者的働きが強く求められています。

先日、辺野古ゲート前の座り込みで聞いた報告によると、政府は辺野古の海の埋め立てのために奄美大島をはじめ九州、瀬戸内海の17カ所を採掘場にしようとしており、各地域住民は反対協議会を作り、座り込みと連帯しているとのことです。辺野古新基地は大浦湾の珊瑚だけでなく、国内の他地域の環境をも破壊しなければ建設できないのです。「辺野古が唯一」と繰り返す政府要人の発言には、沖縄県民だけでなく全国民を分断する意図があるのではないのでしょうか。珊瑚の分布に応じてきれいに色分けされた大浦湾を一望できる高台に立つと、そのことを強く感じます。

沖縄は、450年続いた琉球王朝の時代から地理的有利性・利便性によって万国津梁の精神と平和外交で東南アジア諸国、世界の国々の人々とのつながりを大切にしてきました。その先達者たちの教えを心に刻んでいる多くのウチナンチューの願いは、人と人とのつながりでつくる平和であり、「わたしにつながっていなさい」と言われたキリストの望まれる平和へと続くのではないのでしょうか。辺野古ゲート前で機動隊に排除されてもなお繰り返し座り続け、また大浦湾で海上保安官からボートで体当たりされてもひるまずに抗議を続ける人々の気骨な姿に、主イエスの受難の姿が重なり、平和を追い求める勇気が与えられます。

「発展は幸福を阻害するものであってはいけません。発展は人類に幸福をもたらすものでなくてはなりません。愛情や人間関係、子どもを育てること、友達を持つこと、そして必要最低限のものを持つこと。これらをもたらすべきなのです」。南米ウルグアイのホセ・ムヒカ元大統領のスピー

チです。世界には近隣諸国との長い間の軍事衝突に終止符を打つためにあえて軍を解体し、軍事費を教育費に充てて発展している国もあります。そのような国の指導者が国民に示すヴィジョンは「心の豊かさ」であることは明白です。現在の私達はそのような「豊かさ」に向かっているのでしょうか。

昨今の全国的な抗議集会は辺野古と高江(北部・ヘリパッド基地)の長きにわたる訴え、「安全保障関連法と新基地建設がリンクしていること」が多くの国民、特に若い世代の心に響いてきているようです。数年前から、本土からの修学旅行生や団体、個々人で辺野古と高江を訪れる方が多くなっていると聞きます。その若者たちは自分の目で見て、耳で聞いて、人々と触れ合って戻り、今度は仲間と一緒に訪れています。遠く離れた地域で辺野古と連帯しながら、若者たちを派遣しているということも耳にします。

わたしたちは今こそ、「心の豊かさ」を取り戻す時期にいたるのではないのでしょうか。裁判のとき、ピラトに「あなたは自分の考えで、そう言っているのですか。それとも他の者がわたしについて、あなたにそう言ったのですか。」と問いかけた主イエスの言葉を想いつつ、辺野古と高江の地に共に立ち、全国の人たちとのつながりの中でキリストの平和の実現を願い、祈り合ひましょう。

(沖縄教区委員 司祭 高良孝太郎)

※2014年第61(定期)総会にて、これまでに続いて「沖縄週間」の継続が決議されました。

これは、日本聖公会の全教区・教会が沖縄の現実に思いを寄せ、私たち自身が主の平和を求めて祈ることを目的とするものです。

沖縄教区と日本聖公会正義と平和委員会は、この週間にあわせ、沖縄の歴史及び現在を学ぶ旅を行い、全国の皆さんをお誘いしています。ぜひ、多くの方々のご参加をお待ちしています。

沖縄週間の祈り

歴史と生命の主である神よ、私たちを平和の器にしてください。

嘆きと苦しみのただ中にあなたの光を、

敵意と憎しみのただ中にあなたの愛と赦しをお与えください。

私たちの出会いを通して悲しみの中に慰めを、痛みの中に癒しを、疑いの中にあなたへの信仰を、主よ、豊かに注ぎ込んでください。

この沖縄週間を通して私たちを新たにし、

あなたの示される解放と平和への道を歩む者としてください。

私たちの主イエス・キリストのいつくしみによって、

このお祈りをお献げいたします。 アーメン *tipig*

主催 日本聖公会 沖縄教区
日本聖公会 正義と平和委員会



参 加 の し お り



* 航空券手配について *

3 日目 の 6 月 2 6 日（日）の宿泊を市販の「ホテルパック」として手配されることをお勧めします（航空券とホテルを別にとるよりも安く購入できます）。各地発及び帰りの沖縄発の時間はできる限りプログラムに支障のないようにご設定ください。

* 宿泊について *

- ・ 1 日目 2 4 日の宿泊は当方でホテル（北中城村のサザンヴィレッジ）を手配します。
- ・ 2 日目 2 5 日（教会分宿）の宿泊先は基本的には当方で手配します。
- ・ 3 日目 2 6 日の宿泊先は、翌 2 7 日の会場が小禄聖マタイ教会ですので、那覇市内でなるべく小禄聖マタイ教会に近いホテル（同封地図参照）をご手配ください。
- ・ 費用を抑えたい方は、小禄聖マタイ教会への宿泊等も手配できます（要相談）。

* 費用（概算） *

- ・ 2 4 日 ホテル 5, 0 0 0 円
 - ・ 2 5 日 教会分宿 3, 0 0 0 円
 - ・ 2 6 日 ホテルパック（各自）
 - ・ プログラム参加費 8, 0 0 0 円（精算の上、追加徴収があるかもしれません。）
 - ・ 食事代（2 4 日夕・2 5 日昼・2 6 日夕・2 7 日昼）
2, 0 0 0 円程度
- 合計金額 各地からのホテルパック ＋ 1 8, 0 0 0 円程度

* 集合時間・場所 *

1 2 時 5 0 分までに 那覇空港 1 階「到着口 B」 付近へ。係の者が立っています。各自昼食を済ませてお集まりください。集合の後、バスに乗り、沖縄国際平和研究所へ向けて出発しますので、くれぐれも時間厳守でお願いします。

* スタッフ *

- ・ 沖縄教区：司祭金 汀洙、司祭高良孝太郎、富本盛彦、並里 厚、司祭岩佐直人、司祭並里輝枝、司祭西平妙子、高良孝子、主教上原榮正、
- ・ 正義と平和委員会：司祭長田吉史、司祭柴本孝夫、司祭小林祐二、佐藤由佳

* 締め切り * 5 月 9 日（月）

〒162-0805 新宿区矢来町 6 5 番地 日本聖公会管区事務所 正義と平和委員会宛
電話 0 3（5 2 2 8）3 1 7 1 FAX 0 3（5 2 2 8）3 1 7 5

2016年沖縄週間／沖縄の旅 プログラム

6月24日（金）～27日（月）

今回は、テーマ「命どう宝 ～平和って何？ わたしの平和、キリストの平和～」のもとプログラムを構成しています。以下、トピックを記します。

- 24日：集合し、沖縄国際平和研究所へ。教区センターで開会礼拝。上原主教メッセージの後、講演会「辺野古を廻る沖縄県と国の動き～私たちに必要なことは～」講師－加藤裕弁護士。
受付、夕食後、当方手配のホテル（北中城村のサザンヴィレッジ）へ。
- 25日：ホテルよりバスで出発し、辺野古へ。新基地建設阻止のための座り込みに参加。浜での祈り。高江で話を聴き、祈る。分宿のため各教会へ。
- 26日：分宿先教会の主日礼拝・愛餐会に参加。北谷諸魂教会での沖縄教区「慰霊の日」礼拝・プログラムに参加。小禄聖マタイ教会へ移動し、夕食をかねての交流会。各自手配のホテルで宿泊。
- 27日：小禄聖マタイ教会にて分かち合い（平和への取り組み・行動の今後について）、閉会礼拝。昼食後、13時解散。

日 時	1日目 6月24日（金）	2日目 25日（土）	3日目 26日（日）	4日目 27日（月）
8:00		朝食 ホテルにて		朝食 ホテルにて
9:00		8:30 ホテル出発 フィールドトリップ	朝食 各教会にて	9:30 分かち合い 平和への取り組み・ 行動の今後について
10:00		10:00 辺野古テント村着 新基地建設阻止座り込み 参加。浜での祈り		11:50 閉会礼拝 小禄聖マタイ教会
11:00		11:30 辺野古発、高江へ	各宿泊教会の礼拝 に出席	
12:00	12:50 集合（那覇空港）	移動中、昼食	昼 食	昼 食（弁当）
13:00	13:00 出発 13:30 沖縄国際平和研究所 で沖縄について学ぶ	12:30 高江着 お話を聴く。共に祈る。 13:30 高江出発	移 動	解 散
14:00		教会分宿先へ移動		
15:00	出発 15:45 沖縄教区センターにて 開会礼拝、オリエンテーション		沖縄教区 「慰霊の日」礼拝 北谷諸魂教会 16:30 移動	
16:00	16:30 講演 講師－加藤裕弁護士 「辺野古を廻る沖縄県と国の動き ～私たちに必要なことは～」			
17:00			小禄聖マタイ教会にて 夕食・交流会	
18:00	18:30 受付・夕食	各教会に分宿		
19:00				
20:00	就寝前の祈り ホテルへ移動		就寝前の祈り ホテルへ移動	
21:00				
宿泊	当方手配のホテル	各教会に分宿	各自手配のホテル	

お申し込みの際して

- 下記申込書にご記入の上、日本聖公会管区事務所 正義と平和委員会宛にお送りください。
〒162-0805新宿区矢来町65番地 TEL 03(5228)3171 FAX 03(5228)3175
- 航空券手配、宿泊場所について、その他
『参加のご案内』の「参加のしおり」をよくご覧ください。
- 締切日は5月9日(月)です。

キリトリ

2016年 沖縄週間 / 沖縄の旅 申込書

ふりがな			年 齢	性 別
氏 名			歳	男 ・ 女
			※宿泊の部屋割り等の判断材料とさせていただきます。	
住 所	〒			
電 話	()	FAX	()	
携帯電話	()	Email		
所属教区 所属教会	教 区			教 会
利用航空便について				
往	日	便	那覇空港 着 時刻	:
復	日	便	那覇空港 発 時刻	:
宿泊について				
2 6 日	ホテル () ・ 小禄聖マタイ教会 ※決まっていればホテルを記入。教会宿泊を希望する場合は○で囲んでください。			
食事について (必要なところにチェックマークを入れてください。)				
☐ 2 4 夕 ☐ 2 5 昼 ☐ 2 6 夕 ☐ 2 7 昼				
自己紹介欄 (ご自由にどうぞ。参加動機などもお聞かせください。)				

旅に用意するもの・服装の注意

*この沖縄週間／沖縄の旅の実施期間は、ちょうど沖縄の梅雨明けの頃になります。
この頃の雨は、一日中降り続くといった降り方ではなく、朝夕に夕立のように、
サッと降ってすぐに雨が上がります。簡単な雨具〈折り畳みの傘、ビニールの雨具〉
を用意しておくとい良いでしょう。

*沖縄の6月下旬の気候は、本土各地の盛夏の頃の気温と日差しです。
日中の強い陽射し(紫外線)を避けるため、「つばのある帽子」は必需品です。
今回も、基地めぐりや辺野古訪問など、日中に出かけるプログラムがあります。
防暑対策をしてください。そして水筒を携行することをお勧めいたします。

*強い日差し（紫外線）を避けるための工夫を、各自あらかじめ考えておくのもよい
でしょう。
特に肌の弱い方は、日焼け止めクリーム、袖のある上着（薄手の長袖シャツ）、
日傘、サングラスなどの用意を！

☆旅の服装で注意したいポイントは、

1. 汗を吸う素材のもの(木綿などの素材)。
2. 半ズボン、キュロットスカート、コットンスラックス、ジーンズなど、
暑さを防げて動きやすい(リラックスできる)もの。
3. 着替えは十分に用意してください。
4. 行き帰りの飛行機の中は冷房（空調）が少し寒いくらいですので、
機内で羽織る上着などは各自の判断でご用意を！
5. 移動が多いため、歩きやすい靴を履いてこられるといいと思います。